[平成30年度年間活動日誌]

H30 5 17 新委員交流会

6. 2 平成30年度総会

6 9 ほたるの夕べ(ステージ・模擬店・パトロール)

7.28 日生夏まつり(模擬店)

8.26 オールジャンルフェス

11. 3 子ども・若者健全育成月間啓発活動

11.25 第7回青少年フォーラム

H31. 1.24 全体会(校区委員会)

[その他の活動]

- ·役員会(毎月)
- 理事会(毎月)
- ・ブルーヒンメルの発行
- ・青少年指導員としてのパトロール
- ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席

「連携活動」

- •猪名川西青少年問題協議会
- ・六瀬総合センター運営協議会
- ・こころ豊かな美しい阪神北推進協議会
- ・猪名川町こころ豊かなまりづくり運動推進協議会
- •猪名川町地域安全推進協議会
- ・ほたるの夕べ実行委員会
- ・安全・安心まちづくり川西猪名川住民大会への参加
- ・猪名川町PTCAフォーラムの後援・参加

ほたるの夕べ出店





河川敷清掃





編集後記

この一年、SWING-BYメンバーと一緒に活動してき ましたが、子どもは子どもなりの悩みがあり、大人もい ろいろと悩むことがあります。その度に、役員会メンバ 一と話し合う場を作り、ひとつひとつ前に進めていくこ とができました。やったことのないことにも「無理!」と 言わず、様々なことにチャレンジできる大人や子どもた ちが今後、益々増えていくことを願っています。

猪名川町青少年健全育成推進会議 会 長 太田はるよ

(事務局)猪名川町地域振興部参画協働課 (電話)072-766-8783 (ホームページ) http://www.seisuikai.jp

ブルーヒンメル





第25号 ブルーヒンメル

「地域の大人ができること」

猪名川町青少年健全育成推進会議 会長 太田 はるよ

若者たちと活動していて気になるのが、よく彼らが発する「ムリ」「わかんない」「めんどく さい」という言葉です。ただ単に「失敗」することを恐れているのか、「考える」こと自体が「め んどくさい」のか、「比較」や「否定」されることを予想して、「いい人」から外れることが嫌なの か?と甚だ疑問に感じています。その背景には大人同士のコミュニケーションがうまくとれ ていないことが関係しているのかもしれません。「いつでも・どこにいても・どんな情報でも・ 誰とでも、直接つながり合える」というネット社会で生活していると、人間関係が煩わしく感 じ、「他人と関わりたくない」、「個人情報」の関係からPTAに加入しない…につながったり、自 治会等に入らない理由となり、ますます人間関係が希薄化してきています。

本来子どもたちはゆっくりと友達との会話や様々な社会経験を通して人格を形成していく ものですが、便利な反面、使い方を誤ると危険なスマホのようなメディアに振り回されたり、 悩まされたりすることが多くなっています。このような情報社会で生きていかなければなら ない子どもたちのために、地域の大人としてできることは、子どもたちとたくさん「関わる」 機会を作り、しっかりと「言葉」で伝え、積極的に大人同士の交流をし、関係諸団体が繋がる ことです。そして、子どもが自ら何かをする時に必要に応じて「そっと後ろから肩を軽く押して あげる」ことくらいなのではないでしょうか。

まずは大人が子どもたちに恥ずかしくても良い、失敗しても良いという見本を見せること からなのかもしれません。

「子どもたちを応援する大人」のために

第7回 猪名川町青少年フォーラムが開催されました <平成30年11月25日(日)於:文化体育館小ホール>

今回のテーマは、「奪うな! 子どもの可能性 ~大人がこれからすべきこと~」。 子どもたちが持っている無限の可能性を奪うことなく引き出す方法や、今大人に求められているものは何かを知り、子どもたちと同じ方向を見て関わっていくことの大切さを知る機会となりました。

第1部 講演 高橋 惇(たかはし じゅん)氏 (一般社団法人 イドミィ 代表理事)

高橋さんは、ご自身を「何かを成し遂げたエライ人ではなく、現在進行形で挑戦している人」と紹介したうえで、現在の「イドミィ」を経営するに至った経緯(自転車で2度日本一周を達成された体験やお笑い芸人の経験など)をお話くださいました。また、子どもに芽生えた小さな夢の種を育てるためには、いかに地域の大人と子どもがコミュニケーションを図っていく必要性があるのか、熱く語ってくださいました。

大人から子どもたちへ、やりたいことに対するアドバイスはあっても、否定的な言葉は必要ありません。 また、子どもたちの意見を尊重し経験させてあげることが大切であり、子どもたちが「やりたいことをやり たいと言える環境づくり」がとても重要なのです。地域で一団となり、挑戦する子どもたちを応援していき ましょう。







~ 環境づくり ~

★やってわかる『経験値』

★工夫する『知恵』

★人との出会い



- ~ 褒める言葉への変換 ~
- ★反抗的だ
 - →自立心があるね
- ★集中力がない
 - →好奇心旺盛ね
- ★作業が遅い→丁寧だね

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター:高橋 惇(たかはし じゅん)氏

パネリスト: 猪名川町内または近隣に在住・在学の高校生、地域の大人

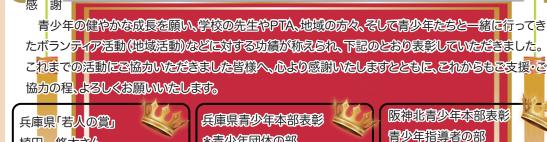
テーマを「必見!! コミュニケーションのススメ」とし、各パネリストが抱く親(大人)・子どもに対する思いや考えを意見交換しました。

親(大人)の思いと高校生の思いには温度差がありましたが、それは適度な距離をとりコミュニケーションを図ることで、解決することが分かりました。また、双方の立場における共通の意見としては、子どもは親に対して「夢を応援してほしい」という思いがある一方、親は子どもに対して「夢を応援したい」という思いでした。親は何があっても、子どもの夢に対する応援団です。

パネルディスカッションを通して、日常における地縁関係の大切さ、親子同士でのコミュニケーションがいかに重要であるかを再認識することができました。











兵庫県公館にて

平成 アイ

人見 和子さん

平成30年11月17日 アイフォニックホール (伊丹市)にて



今回の出演者は過去最多の11組230名!バンドやダンス、ダブルダッチ、和太鼓など様々なジャンルのグループが圧巻のパフォーマンスを披露しました!毎年恒例のフィナーレはBIG BAND!「SWING-BYのテーマ」、「ヤングマン」を出演者全員と来場者で歌い踊り、会場は一つになりました!



平成30年度全体会 (校区委員会)

今年度の全体会は、「このまちで子どもの芽を育てる住人(じゅうにん)十色(といろ)術」をテーマに講師をお招きし、グループディスカッションを交えた講話を予定しておりましたが、急遽予定を変更し、各中学校区における「最近の子どもの状況」「地域の大人としてできるごと」というテーマのもと、情報交換会を行いました。各校区の実情を全体で共有しあうことができ、参加者にとって大変有意義な場となりました。

猪名川中学校区

現在においても学校の中では、「鬼ごっこ」や「かくれんぼ」といった昔ながらの遊びを楽しむ子どもたちの姿があることについて意見が交される中、話題は教師の多忙な勤務実態へと変わり、「荒れる授業」の生々しい報告がありました。このような問題は、学校や保護者だけに限らず、地域から行政まで、子どもたちに関わるすべての人々が真剣に問題と向き合わなければ解決されません。

大人の事情等から、様々なしわ寄せが子どもたちに向けられるという不幸なごとだけはあってはならないと確認し合い、テーマとして取り上げられた「今、私たち大人にできるごと」について深く考えることができました。

中谷中学校区

参加者からは、スマホの使用に伴う問題点について、下記のとおり話がでました。

- ○保持率が高くなる一方、様々な情報に影響されやすい。
- ◎ゲーム課金をすることにより高額請求となった。
- ◎長時間使用やネットいじめなどの間違った使い方をしている。

色々な事例を伺うなかで、今、大人ができることは、スマホの「与え方」や「約束事」を含め、子どもと しっかり向き合うこと。また、学校・地域・家庭における相互協力および情報交換が必要であるという 結果に至りました。

六瀬中学校区

「不登校の子どもはどのようなことがきっかけだったのか?」「学校はどのように対応されているのか?」という質問がありました。「学校はずっと家族に任せきりにしているようにみえてしまう。」という保護者の意見に対し、他の参加者の「子どもの同級生が不登校になったのは、学校行事での失敗から人間関係が上手くいかなくなったのが原因。先生は何回もその子の家を訪問し、学校に来ることができなくても別の場所で勉強できるよう対応していた。その結果、高校・大学と進み、今では社会人として仕事を頑張っている。」という話や、中学校の先生の「決して何もしていない訳ではない。」という話に安心しました。このように、先生と保護者がじっくり話し合う機会は大切なことで、これからもこのような情報交換の場は必要だと感じました。







定期総会

6月2日に平成30年度定期総会を開催いたしました。 前年度の活動報告および、今年度の活動方針・活動計画などが 協議され承認されました。



役員の思いを一言

副会長 西田 啓治

家庭を取り巻く社会環境の変化、価値観の多様化など様々な問題が起こっている現在、我々、大人が 青少年の育成に関する活動に対して、日々、ジレンマとの戦いであり、悪戦苦闘している状況ではありますが、行政や地域等と連携しながら活動を進めていきたいと考えています。

副会長久保宗

若者による悪質で不適切なSNS投稿が再び大炎上している。教育現場の努力の甲斐もなく、モラル違反で片づけられないその行動の背景に何があるのか。昭和の時代に地域の大人から叩き込まれた「世間に迷惑をかけるな」という考え方を否定する価値観でも生まれているのか。大人の本気度が試される時代だ。

副会長 片岡 能婦子

この活動を通して、多くの高校生の成長を見てきました。同年代だけでなく地域の大人と一緒に活動する中で色々なことにチャレンジして、自分の「できること」や「やりたいこと」を見つけてほしいと願っています。大人は、若者とコミュニケーションを図り、若者の気持ちや考えを知ることが大切ですね。













日生夏まつり







オールジャンルフェスにて、平成30年7月に 発生した兵庫県豪雨災害に伴う義援金の募金を 行いました。

ご協力ありがとうございました。 ¥2,591.-を寄付させていただきました。